

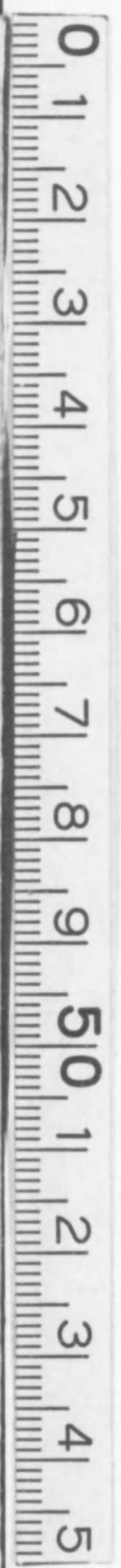
385
517

昭和十三年六月

佐世保市中央卸賣市場概要

佐世保市勸業課

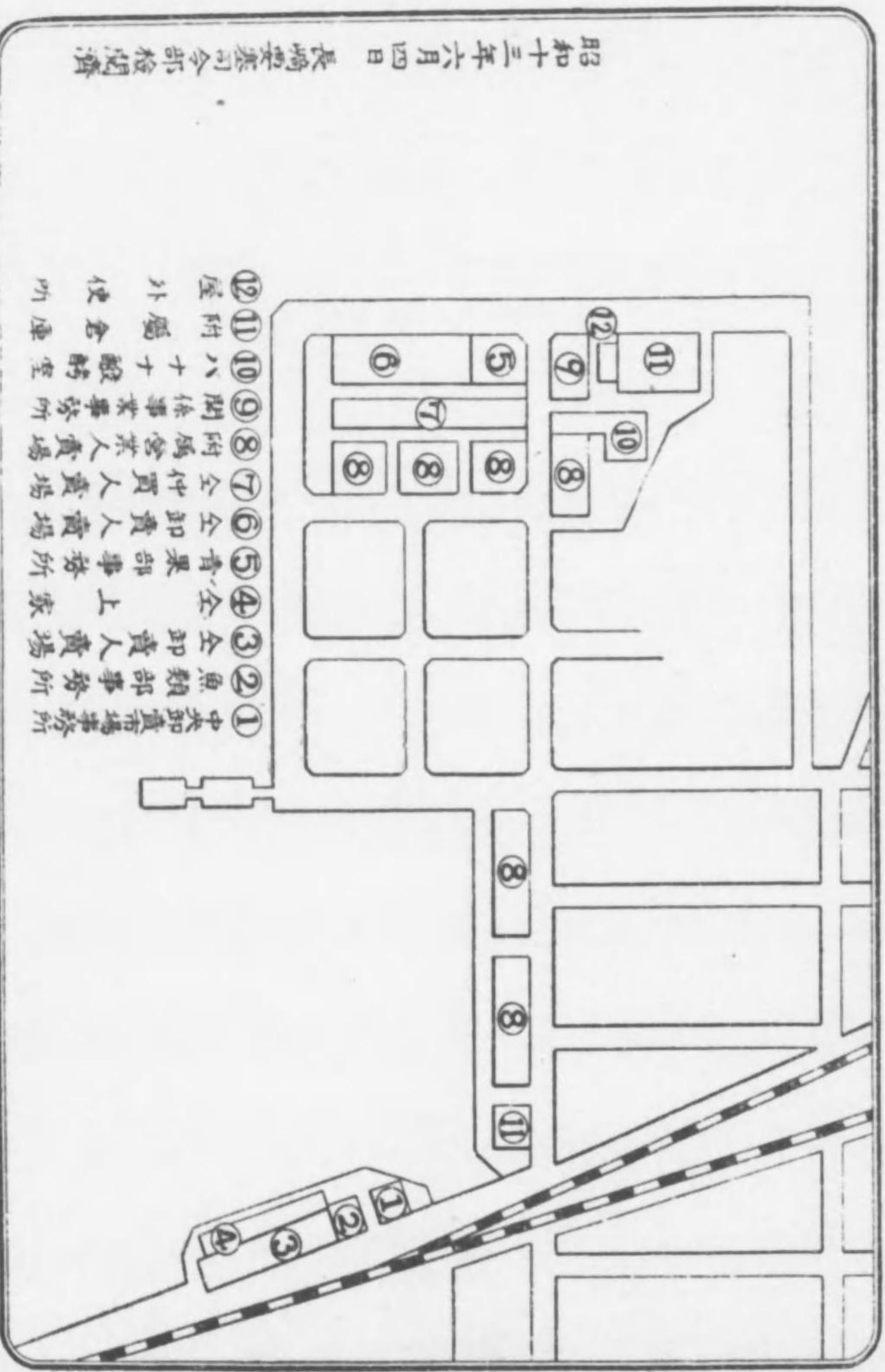
3
5



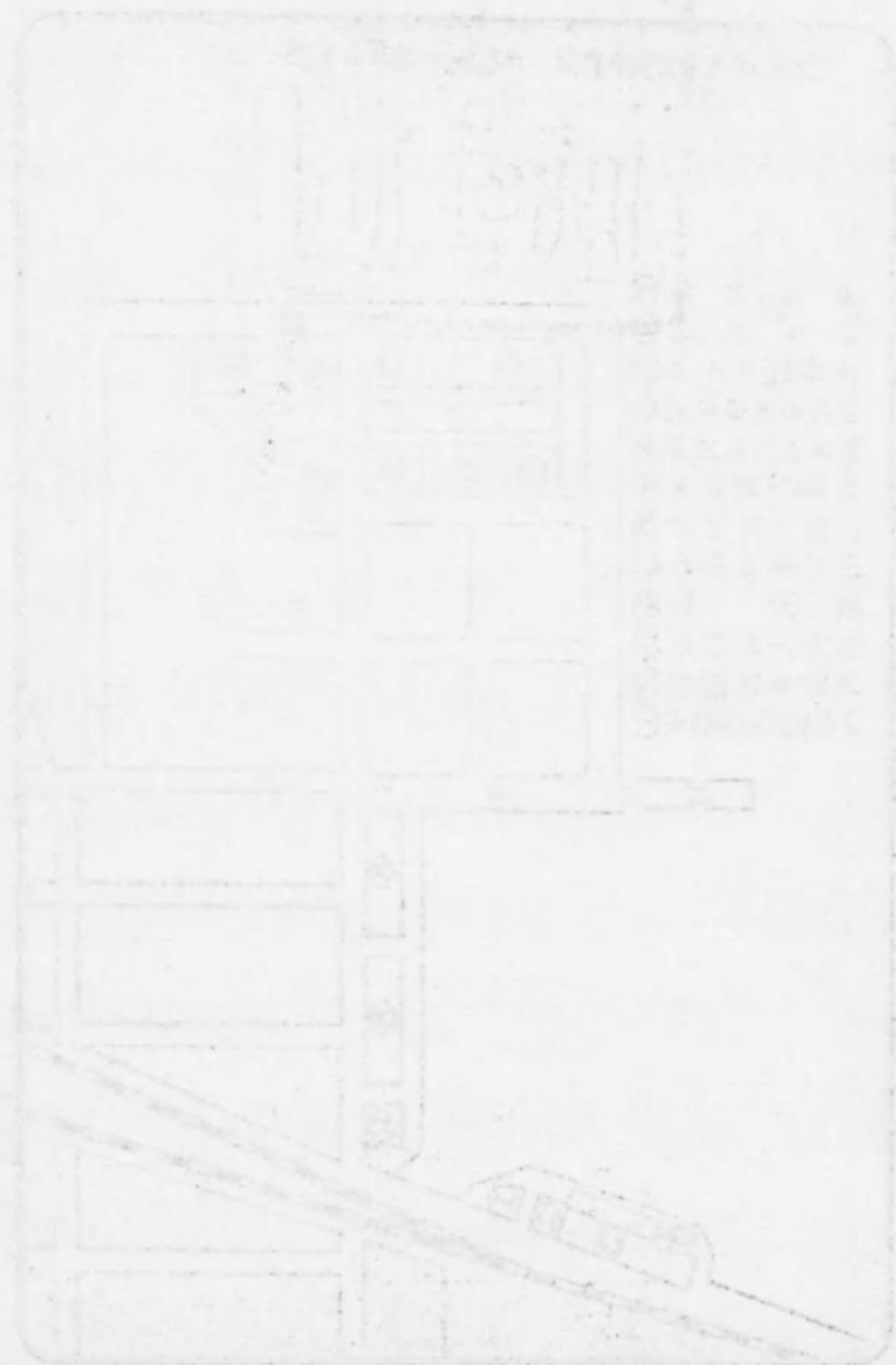
始



佐世保市中央卸賣市場配置圖



昭和十三年六月四日 長崎製菓司令部檢閱済



佐世保市中央卸賣市場概略図

佐世保市中央卸賣市場概要

目次

| | |
|------------|----|
| 一、沿革 | 一 |
| 二、位置及用地面積 | 五 |
| 三、建設費 | 六 |
| 四、設備 | 九 |
| 五、取扱品目 | 九 |
| 六、取扱品目の部類分 | 一九 |
| 七、取扱見込高 | 二〇 |
| 八、組織 | 二〇 |
| (イ) 開設者 | 二一 |
| (ロ) 卸賣人 | 二一 |



| | | | |
|-----|-------|-------|----|
| (ハ) | 仲買人 | | 一三 |
| (ニ) | 附屬營業人 | | 二四 |
| (ホ) | 買出人 | | 二五 |



佐世保市中央卸賣市場概要

一、沿革

本市は大正八年本邦市營卸賣市場の魁として公設卸賣(青果)市場を、同九年には市營魚市場を開設して、生鮮食料品配給組織の上に一大革新を齎したのである。爾來本市は右二市場の管理經營に一段の努力を拂ひ、内容を充實し取引を合理化して、市場業者の地位を安定し、消費者の利益を圖る一面亦生産者の福利増進に最善を盡した結果、二市場共年々進展し優秀な成績を収めて來たが適々昭和四年十二月六大都市を除く中都市指定の、第一期に中央卸賣市場法の適用を受けることとなり、本市を初め早岐町、相浦町、中里村、皆瀬村、大野村、柚木村の一市二町四ヶ村を、佐世保市の中央卸賣市場區域として指定されたのである。

當時本市の右區域内に於ける既設の食料品卸賣機關としては前記の佐世保市公設卸賣市場、同市營魚市場、早岐魚市場、相浦魚市場、日野魚市場、船越魚市場の六ヶ市場と、之に市場類似の機關として、日宇漁業組合共同販賣所、長崎縣郡部水産會聯合水産物販賣斡旋所を加へ八ヶ所存在して居

た。

右市場中、早岐、相浦、日野、船越の各魚市場は相當古い歴史があり、就中、早岐魚市場は元祿年間に創設され本地方に於ける最も古い市場として傳へられ、他の三ヶ市場も四、五十年及至六十年の沿革を有して居るのである。

佐世保市の市營魚市場のみは、最近の建築で規模も大きく又設備も完備し理想的の卸賣市場であるが、同じ市營でも公設卸賣市場の方は、大正八年應急的に建設した關係もあり、位置の不適當は元より規模設備共に不完全にして、取引量の増大した今日の市場としては不利不便多大にして本市場の移轉改築は焦眉の急とせられたのである、殊に本市營を除く他の既設市場の悉くが規模設備の少は勿論として制度組織、取引方法などにも不合理な点多々あり、これ等の市場を整理統制して市場の取引を合理化することは、都市産業政策上極めて緊要なことであつた。

前記の如き状況に鑑み區域指定の直後の昭和五年度より、中央卸賣市場開設の基礎的調査に着手し昭和七年度に於ては大体右の調査を了したが、此の調査の結果は愈々本市に中央卸賣市場開設の緊要なるを認識したので、直ちに開設計畫の大綱を樹てたが、當時機未だ熟せず正式に市會に提案する迄には至らなかつた、爾來調査は依然として繼續して居たが、更に昭和九年度に於て具体的計畫

を樹立し、即ち昭和十年度同十一年度の二ヶ年繼續事業として貳拾七萬五千圓の開設計畫を編成し昭和十年三月の市會に正式提案して議決を得たのである。

昭和十年四月右市會の決議に基き、縣經由開設認可の申請をなしたが、種々の支障あり認可が後れた爲め計畫を一ヶ年繰下げ、昭和十一年度同十二年度の繼續事業に変更するの已むなき事情に立ち至つたのである。

昭和十一年九月待望の開設計畫並分場設置の認可があり、越へて同十二年一月起債も許可されたので、茲に愈々工を起し爾來工事も順調に進行し、本年三月主要工事は大体竣工し五月全工事の竣工を告げ六月十六日竣工式を舉行し得ることゝなつたのである本市が中央卸賣市場の區域に指定されて以來、今日開場する迄の經過を摘記すれば左の通りである。

開設經過

區域指定

昭和四年十二月二十三日

| | |
|-------------------|-------------|
| 開設費豫算案及 起債市會議決 | 昭和十年三月十八日 |
| 同市會議決 | 昭和十年三月二十日 |
| 開設認可申請 | 昭和十年四月二十六日 |
| 同認可 | 昭和十一年九月二十一日 |
| 起債許可 | 昭和十二年一月八日 |
| 建築起工 | 昭和十二年六月五日 |
| 地鎮祭舉行 | 昭和十二年八月二十日 |
| 建築竣工 | 昭和十二年六月十五日 |
| 業務規程認可 | 昭和十三年一月二十八日 |
| 使用料條例許可 | 昭和十三年五月二十日 |
| 落成式舉行 | 昭和十三年三月二十日 |
| 業務開始 | 昭和十三年四月二十三日 |
| | 昭和十三年五月六日 |
| | 昭和十三年六月十六日 |
| | 昭和十三年六月 日 |

二、位置及用地の面積

本場の位置は佐世保驛鐵道用地に接続し又佐世保港に面し海陸交通機關との連絡に極めて利便である。

中央卸賣市場の位置としての主要條件である、鐵道並に船舶の如き運輸機關と直接連絡し、而かも一面市内配給にも至便であるから理想的な位置と言ひ得るであらう。尤も本市が軍港であり殊に時局の關係もあり、海面の埋立等が不可能にして、魚類部に接続する用地を得られず己むなく青果部の用地は民家に中斷された位置を選定した關係上、鐵道と直接の連絡なく此の點聊か不利とも觀られ遺憾である。

早岐及相浦分場の用地は鐵道に直接の連絡はないが海に面して居り、魚類部の市場として引荷には極めて有利な位置を占めて居る、本分場に於ては他地方への送荷なき關係上、引荷と地元への配給の便を考慮し用地の選定に當つた譯である。

今本分場別に用地面積の詳細を表せば左の通りである。

佐世保本場總面積 四二四二、坪七〇

佐世保市三浦町地先市有埋立地 一、三六二、坪七二
 全 鐵道用地 七一六、坪一四
 全 鹽濱町地先市有埋立地 五七三、坪八四
 全 萬津町地先市有埋立地 (北側) 五七九、坪五〇
 全 (南側) 一、〇一〇、坪五〇
 早岐分場 二四〇、坪一六
 東彼杵郡早岐町浦免
 相浦分場 二五〇、坪〇〇
 佐世保市相浦免

三、建設費

昭和十一年度同十二年度の二ヶ年繼續事業にして開設費豫算は二十七萬五千圓であるが、之は今回の建設費のみであるから、中央卸賣市場の開設と同時に、魚類部の設備に充當したところの舊市

營魚市場の建設費二十三萬三千圓、水産倉庫の建設費二萬三千圓と、萬津町用地の埋立費二十五萬七千五百八十圓を合算するときは、建設費總額は七十八萬八千五百八十圓となる。
 今其の内譯を表示すれば左の通りである。

中央卸賣市場建設費内譯

| 費目 | 中央卸賣市場開設費 | 舊市營魚市場建設費 | 舊水産倉庫建設費 | 萬津町埋立費 | 計 |
|-----|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| 用地費 | 三九、一〇〇圓 | 九八、六八四圓 | | 二五七、五八〇圓 | 三九五、三六四圓 |
| 建築費 | 一八三、七一五 | 一〇一、一〇〇 | 二三、〇〇〇 | | 三〇七、八一五 |
| 設備費 | 一七、五六〇 | 二五、一二五 | | | 四二、六八五 |
| 雜費 | 一九、三〇〇 | 八、〇九一 | | | 二七、三九一 |
| 豫備費 | 一五、三二五 | | | | 一五、三二五 |

| | | | | | |
|---|---------|----------|---------|---------|---------|
| 計 | 二七五、〇〇〇 | 二二三三、〇〇〇 | 二二三、〇〇〇 | 二五七、五八〇 | 七八八、五八〇 |
|---|---------|----------|---------|---------|---------|

備考

一、水産倉庫の用地費は市營魚市場の用地費中に包含されてゐる。
 一、萬津町埋立費の二十五萬七千五百八十圓は中央卸賣市場用地に充當した坪數壹千五百九十坪に埋立費平均坪當單價百六十二圓を乗じた額である。
 次に又今回建設したところの本場分場の建設費内譯を夫々表示すれば左の通りである。

中央卸賣市場開設費 (自昭和十一年度 至昭和十二年度) 内譯

| 費目 | 本場 | 早岐分場 | 相浦分場 | 計 |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 用地費 | 一〇、〇〇〇圓 | 一一、一五〇圓 | 一六、九五〇圓 | 三九、一〇〇圓 |
| 建築費 | 一五九、四一五 | 一一、三九五 | 一二、九〇五 | 一八三、七一五 |

| 設備費 | 雜費 | 豫備費 | 計 |
|--------|--------|--------|---------|
| 一五、七〇〇 | 一八、〇〇〇 | 一五、三二五 | 二二八、四四〇 |
| 九一〇 | 六五〇 | | 二五、一〇五 |
| 九五〇 | 六五〇 | | 三一、四五五 |
| 一七、五〇〇 | 一九、三〇〇 | 一五、三二五 | 二七五、〇〇〇 |

備考

相浦分場は未建築にして本場と同時に開場するに至らなかつた。

四、設備

中央卸賣市場の設備如何は、直に其の取引に影響する重要な事柄であるから、計畫設計に際して相當研究考慮を拂つたのである。
 本市場は事務所、卸賣人賣場、仲買人賣場、上屋等主要建物を初め、倉庫、附屬賣店、醱酵室、市

場館等の如く市場の補助的機關も悉く之を建設し、又鐵道引込線、繫船岸壁、場内通路、起重機等の如き交通運輸上の設備より給水並に淨化装置、理髮所、診療所、請願巡察詰所及監督員配置の様な衛生保安上の設備、浴場、瓦斯、電燈、電話等の設備に至る迄卸賣市場に於ける一式の設備は、之を完備して市場の機能發揮上遺憾なからしむることとした。

今建築設備の詳細を掲記すれば左記の通りである。

本場

建物及設備ノ種類及構造一覽表

| 種別 | 構造 | 數量 | | 備考 |
|----------|-----|-----------------------|-----|-----------------|
| | | 建坪 | 延坪 | |
| 一、建物 | | 二、四八九三、一六三 | 九三三 | |
| （一）卸賣人賣場 | 生魚部 | 五五六 | 五五六 | 賣場ノ一方ニ仲買人賣場ヲ設備ス |
| | 青果部 | 二八〇 | 二八〇 | |
| | 肉類部 | 二五 | 五〇 | |
| | | 鐵骨スレート葺 平屋建吹抜 | | |
| | | 木造スレート葺 平屋建吹抜 | | |
| | | 木造スレート葺外部 モルタル塗二階建 | | |

| 種別 | 構造 | 數量 | | 備考 |
|------------|--------|-----------------------|-----|--|
| | | 建坪 | 延坪 | |
| （二）仲買人賣場 | 青果部 | 一二六 | 一二六 | 青果部卸賣人賣場ニ併置ス |
| （三）附屬營業人賣場 | 甲 鹽濱町棟 | 七五 | 一三五 | 住宅兼用 |
| | 乙 全棟 | 一一九 | 二一五 | 右 全 |
| | 萬津町棟 | 七五 | 一三五 | 右 全 |
| | 甲 全棟 | 七五 | 一三七 | 右 全 |
| | 乙 全棟 | 五九 | 一〇七 | 住宅兼用 |
| | 丙 全棟 | 六〇 | 一〇八 | 住宅兼用 |
| | 丁 全棟 | 六〇 | 一〇八 | 右 全 |
| （四）事務室 | 中央卸賣場 | 六八 | 一三〇 | 地階、事務室、食堂、浴場、理髮所、二階、事務室、應接室、宿泊室、建坪六六坪中三〇坪ハ卸賣人會社ニ於テ建設セリ |
| | 生魚部 | 六六 | 一三二 | |
| | 青果部 | 五五 | 一一〇 | |
| | 卸賣人部 | 四九 | 四九 | |
| | | 木造スレート葺 外部モルタル塗二階建 | | |
| | | 木造スレート葺 外部モルタル塗二階建 | | |
| | | 木造スレート葺 外部モルタル塗二階建 | | |
| | | 木造スレート葺 外部モルタル塗二階建 | | |

| | | | | | | | |
|--------|------|---------|---------|---------|------|----------|--------|
| (一) 岸壁 | 二、設備 | (三) 醸酵室 | (二) 診療所 | (一) 渡廊下 | 全 | 全 | (九) 便所 |
| | | 青果部 | 右全 | 生魚部 | 青果部 | 右全 | 右全 |
| | | 右全 | 右全 | 右全 | 右全 | 右全 | 右全 |
| | | 一四三間 | 五六〇間 | 一〇五、 | 六六五、 | 六六五、 | 〇五、 |
| 右全 | | | | | | 一般ノ荷上ニ兼用 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|--------|---------|----------|-----|---------------|-------|--------|---------|--------------|--------------|--------------|
| (八) 仲仕部屋 | (七) 防熱倉庫 | (六) 倉庫 | | | | | | (五) 上屋 | | | | |
| | | 右全 | 生魚部 | 丁全棟 | 丙全棟 | 乙全棟 | 甲萬津町棟 | 鹽濱町 | 生魚部 | 青果部 | 生魚部 | |
| | | 平屋建 | 木造スレート葺 | 鐵筋コンクリート | 右全 | 右全 | 右全 | 平屋建 | 木造スレート葺 | 鐵骨外部モルタル塗二階建 | 木造スレート葺 | 鐵骨スレート葺 |
| | | 一三二、三八 | 二四 | 五〇 | 五〇 | 五〇 | 五〇 | 一三四 | 二一 | 一七五 | 一八七 | |
| | | | | | | 其他、地階、地務所、倉庫、 | | | | | 生魚部卸賣人賣場ニ併置ス | 青果部卸賣人賣場ニ併置ス |

| (六) 引込線設備 | (五) 荷上設備 | (四) 衛生設備 | (三) 洗滌設備内 | (三) 排水設備 | (二) 電燈設備 | (一) 給水設備 |
|---------------------|---------------|--------------|-----------|----------|----------|----------|
| 生魚部 | 各部 | 各生魚部 | 右全 | 生魚部 | 各生魚部 | 各生魚部 |
| 一式 | 一式 | 一式 一式 | 一式 | 一式 | 一式 一式 | 一式 一式 |
| 現在ノ生魚部引込線ヲ延長シ各部共用トス | 生魚部ニ起重機一機設備セリ | 右全 改良便所装置 | | | | |

| (九) 洗場設備 | (八) 宿泊所設備 | (七) 陳列所設備 | (六) 理髮所設備 | (五) 食堂設備 | (四) 浴場設備 | (三) 醱酵室設備 | (二) 補装 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|-----------|-------------------------|
| 青果部 | 右全 | 右全 | 右全 | 右全 | 生魚部 | 青果部 | 萬津町 壇濱町 生魚部 |
| 一式 | 一式 | 一式 | 一式 | 一式 | 一式 | 三七坪 | 一、七三〇坪 二、〇七八坪 |
| | | | | | | | 市有地一、三六二坪 鐵道用地 七、一六坪 |

| 早岐分場 | | | | (五) 衛生設備 | (四) 電燈設備 | (三) 排水設備 | (二) 給水設備 |
|--------------------------------------|-------------|-----------|------------|------------------|----------|----------|----------|
| (三) 附屬市場館 | (二) 附屬營業人賣場 | (一) 卸賣人賣場 | 一、建物 | | | | |
| 三五 | 五六 | 四二 | 一四三、 五 | 一式 | 一式 | 一式 | 一式 |
| 七〇 | 九一、 二五 | 四二 | 二二三、 七五 | | | | |
| 地階、事務室、仲仕部、 屋、食堂賣店、二階、 會議室、宿泊所 | | | | 既設ノ建物ヲ以テ之ニ 充ツ | | | |

| 相浦分場 | | | | (五) 便所 | (四) 氷倉庫 | (三) 倉庫 | (二) 附屬市場館 | (一) 卸賣人賣場 |
|--------|------|--|--|--------------------------------|-----------------|--------|---------------------------|------------------|
| (一) 補装 | 二、設備 | | | | | | | |
| 一〇〇 | | | | 木造スレート葺 外部モルタル塗平 屋建 | 鐵筋コンクリート 平屋建 | 右全 平屋建 | 木造スレート葺 外部モルタル塗二 階建 | 木造スレート葺 平屋建吹抜 |
| | | | | 三 | 五 | 一〇 | 三五 | 五〇 |
| | | | | 三 | 五 | 一〇 | 七〇 | 五〇 |
| | | | | 地階、事務室、食堂、 賣店二階、會議室、宿 泊室 | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|--------|------|--------|---------|--------|
| (五) 衛生設備 | (四) 電燈設備 | (三) 排水設備 | (二) 給水設備 | (一) 補装 | 二、設備 | (六) 便所 | (五) 氷倉庫 | (四) 倉庫 |
| | | | | 一〇〇 | | | | |
| 一式 | 一式 | 一式 | 一式 | | | 三 | 三 | 四、五 |
| | | | | | | 三 | 三 | 四、五 |

備考

本表中生魚部ニ屬スル建物及設備ハ總テ昭和四年竣工シタル既設ノ市營魚市場ノ建物設備ナリ。中央卸賣市場開設ト同時ニ市營魚市場ハ生魚部ニ充當スベキ豫定ナルヲ以テ本表中ニ包含掲記セリ

五、取扱品目

取扱品目は中卸賣市場法第一條規定の生鮮食料品即ち魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及果實の六品種であるが、市營青果市場當時よりの慣習もあり同條第二項に依り許可を得て漬物、乾物も特に取扱ふことになつてゐる。

六、取扱品目の部類分

本市に於ては從來の慣習乃至は取引の實情等に鑑み、部は成べく少數に限定するを有利とし、魚類部、青果部、肉類部の三部に分け其の取扱品種を左の通り所屬決定したのである。

魚類部 鮮魚介類、塩干魚介類、海獸肉類、海藻類及其の製品
 青果部 蔬菜、果實、菌茸及其の製品、鳥卵、漬物、乾物類
 肉類部 獸肉類及其の製品

七、取扱見込高

最近の市営卸賣市場の實績に徴し中央卸賣市場開設後の成績を観るに、本場、分場(早岐、相浦)を通ずる賣上高總額は左の通り五百萬圓に達するであらう。

| | |
|-----|---------|
| 生魚 | 二百八十五萬圓 |
| 鹽干魚 | 六十萬圓 |
| 果類 | 百五十萬圓 |
| 類 | 五萬圓 |

八、組織

中央卸賣市場に於ては、市場を管理經營するところの開設者、取扱品目の販賣委託を受け又は買付を爲し之を仲買人に販賣するところの卸賣人、卸賣人より大量に買入れて小賣人其他に分割販賣する仲買人、其他市場の業務に附帶するところの業務を營む所謂附屬營業人があり、之等の業者を以て本市場の人的構成をなして居る。

(イ) 開設者

開設者は勿論佐世保市である。市は本市場を直營とせず、下記の卸賣人を收容して賣買取引の業務は一式これに委ね、市自らは市場の管理經營者として設備に對する使用料を徴收し嚴正な監督をなして、公正明朗な取引の遂行を期して居る。

(ロ) 卸賣人

卸賣人は産地又は集散地の荷主から販賣の委託を受けた物品を糶賣の方法に依り仲買人其他の賣買参加者に販賣して、委託者から一定の手數料を收受することを主たる營業とするもので、其の業

務に就ては地方長官の許可を要するのである。
 業務の性質上在來市場に於ける所謂問屋と大体同一と観て差支なく、又本縣市場取締規則の委託賣
 買業者に該當するものと解しても大した誤りではない。
 卸賣人は法規に依り取扱品目の部類毎に許可を要するので、前記の魚類部卸賣人に株式會社佐世保
 魚市場を、青果部卸賣人に佐世保青果卸賣株式會社を夫々許可收容し、肉類部のみは目下適任者の
 物色中で未だ收容するに至らない。
 今卸賣人の内容を詳細に表示すれば左の通りである。

卸賣人會社一覽表

(第一表)

| 部別 | 會社名 | 資本金 | | | 設立年月日 | 業務許可年月日 | 業務開始年月日 | 代表取締役氏名 |
|-----|----------------|----------|----------|-----|--------|---------|---------|-----------|
| | | 總額 | 本 | 拂込額 | | | | |
| 魚類部 | 株式會社 佐世保魚市場 | 二二五、〇〇〇圓 | 二二五、〇〇〇圓 | 〇 | 大正九、一七 | 昭和十三、六 | 昭和十三、六 | 特ニ代表者ヲ定メズ |
| 青果部 | 佐世保青果卸賣株式會社 | 四〇〇、〇〇〇圓 | 二五〇、〇〇〇圓 | 〇 | 昭和四、三 | 昭和十三、六 | 昭和十三、六 | 小倉重治 |

(第二表)

| 會社名 | 事務所坪數 | 賣場坪數 | 賣台數 | 従業員數 | 仲買人數 | 賣買參加者數 | 備考 |
|----------------|-----------------|-----------|-----|---------|---------|----------|---------------|
| | | | | | | | |
| 株式會社 佐世保魚市場 | 本場延一三二 分場延七〇 | 五五六 四二 | 一六 | 五三 五 | 二五 九 | 一九七 一 | 分場ノ事務所ハ一部賣店トス |
| 青果卸賣株式會社 | 延一一〇 | 二八〇 | 設ケズ | 三五 | 四七 | 四〇 | |

(ハ) 仲買人

仲買人とは驛に参加し卸賣人より直接買受けを爲し、これを適當に選別し細分して小賣人其他の買出人に販賣し又は他地方に移送販賣するを業とする者を謂ふ。仲買人は其の業務に關し市長の許可を要し又許可は卸賣人同様取扱品目の部類毎に爲されるのである。本市場に於ては魚類部、青果部の二部に仲買人を設け、肉類部には設けぬことにしてゐる。仲買人數の最高限度及現在員數を示せば左の通りである。

業務規程施行規則
= 依ル最高員數

| 部 別 | 現在員數 |
|-------|-------------|
| 魚 類 部 | 本分場ヲ通ジ 一〇〇名 |
| 青 果 部 | 七〇名 |
| | 本場 二五名 |
| | 早岐分場 九名 |
| | 相浦分場 1名 |
| | 四七名 |

猶ほ本市場に於て市營卸賣市場當時よりの慣習もあり取引の實情に鑑み小仲買人制度も設けて居る小仲買人とは市長の許可を受け、仲買人に附屬し其の名義を以て、糶に参加し卸賣人より買受けを爲し得る者である。然し買受代金の精算は卸賣人と直接せず、所屬親仲買人との間になし卸賣人に對しては仲買人が其の責を負ふのである。小仲買も取扱品目の部類毎に許可を要するが、現在の部類別員數は左の通りである。

| 部 別 | 現在員數 |
|-------|------|
| 魚 類 部 | 一九七名 |
| 青 果 部 | 四〇名 |

(二) 附屬營業人

附屬營業人は市長の許可を受けて市場業務に附隨する業務を營む者である。
本市に於て現在許可して居る附屬營業人は左の通り三十九人である。

| | |
|-------|-------|
| 倉 庫 業 | 一 人 |
| 運 送 業 | 二 人 |
| 食 堂 | 五 人 |
| 理 髮 業 | 一 人 |
| 物品販賣業 | 二 九 人 |

(水) 買 出 人

買出人は小賣商を主とし其の他料理營業者等で仲買人を通じ買受を爲す者で、時期に依り多少の増減はあるも、魚類部の毎日の平均買出人は約壹千人、青果部の夫れは七八百人に及ぶ状態である

昭和拾參年六月拾日印刷
昭和拾參年六月拾六日發行

編輯兼
發行者

佐世保市勸業課

佐世保市高砂町五五番地

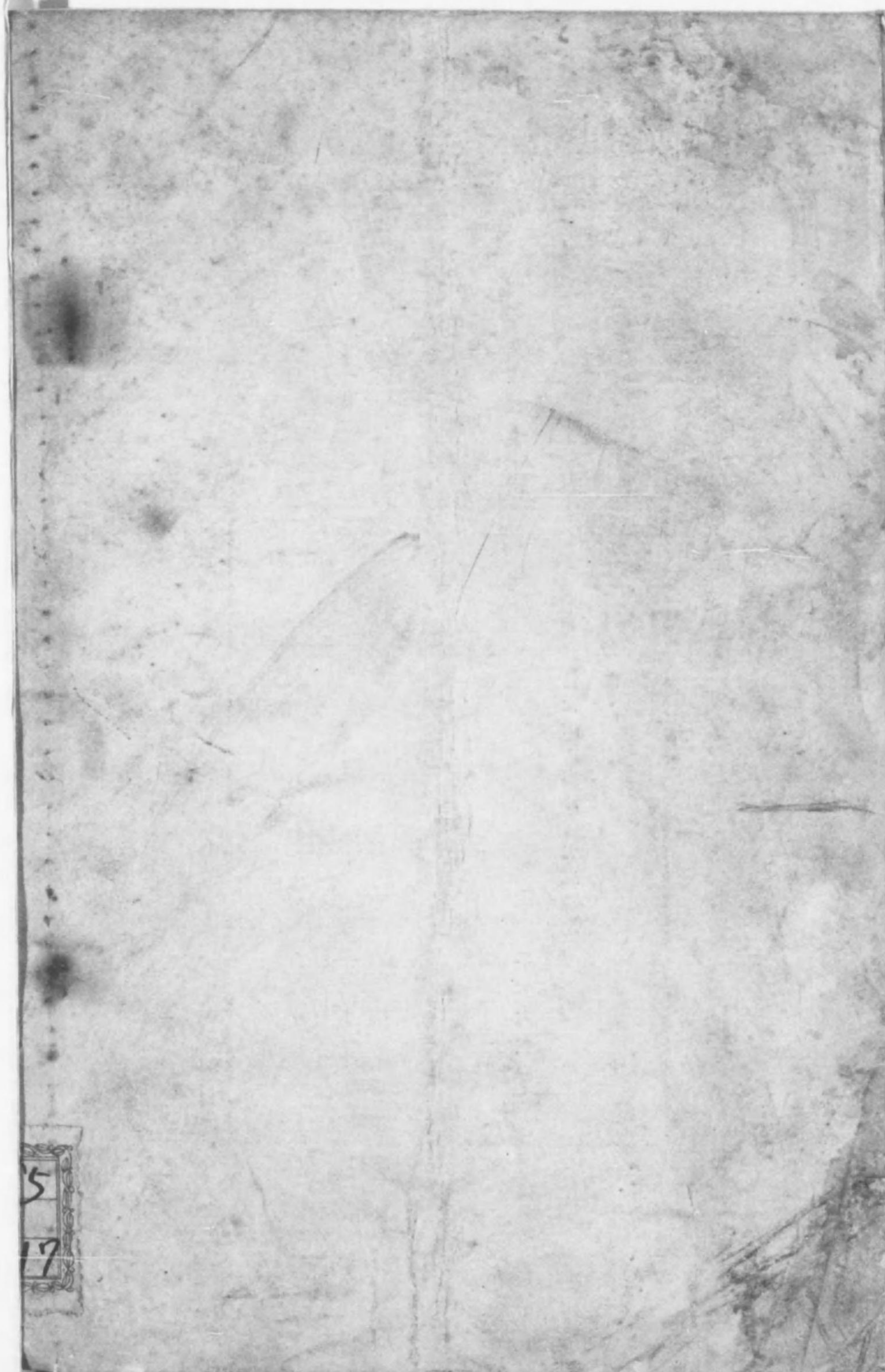
印刷所 石田印刷所

電話二七六三番

佐世保市高砂町五五番地

印刷人 松尾波也

終



5
17